

昼

二時開演（一時半開場）

解説 内藤 連

末廣かり

（すえひろがり）

果報者 野村 裕基
太郎冠者 高野 和憲
すっぱ 深田 博治

果報者が来客に末広かり（扇）を贈ろうと、太郎冠者に命じて都へ買いに行かせる。ところが末広かりが何のことか知らない太郎冠者。声を掛けてきた男の巧みな言葉に、古傘を末広かりと信じ込んでしまう。大喜びで古傘を買い求めた太郎冠者は早速屋敷に持ち帰ると、果報者に見せるのだが…。

縁起物の末広かりを題材とする、祝賀的な狂言の代表曲です。高揚する囃子物とともに晴れやかな結末へ向かう、和樂の世界をお楽しみ下さい。

鈍太郎

（どんたろう）

鈍太郎 野村 萬斎
上京の妻 中村 修一
下京の女 内藤 連

三年ぶりに西国から帰京した鈍太郎。早速妻と女を訪ねるが、久しく音信すらなかったため、二人とも本物の鈍太郎と信じてない。落胆した鈍太郎は、出家してひとり修行の旅に出ることを決心する。ところが、後から真実を知った妻と女が、あわてて鈍太郎に出家を思いとどまるよう頼むと、鈍太郎は都合のいい提案をし始めて…。

二人の女の手車に得意げに乗って浮かれる鈍太郎は「男の理想」？中世の生活の様子が垣間見られる、古作の狂言です。

夜

六時開演（五時半開場）

解説 中村 修一

佐渡狐

（さどぎつね）

佐渡の百姓 高野 和憲
越後の百姓 内藤 連
奏者 深田 博治

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをすることになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者（取次の役人）にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はいる」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を問いただされ…。

越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

千鳥

（ちどり）

太郎冠者 野村 萬斎
主 月崎 晴夫
酒屋 野村 裕基

明日の神事に必要な酒を、支払いの滞っている酒屋から、どうにかして取ってくるよう命じられた太郎冠者は、酒屋に代金の米がすぐにも届くはずと嘘をつき、まんまと酒樽に酒を詰めさせる。早速持つて帰ろうとするが、米が届かぬうちは渡せない酒屋に止められてしまう。米を待つ間、話をするよう頼まれた太郎冠者は、尾張の津島祭の話始めるのだが…。

太郎冠者と酒屋の駆け引きが楽しい作品です。津島祭の千鳥を伏せる場面や流鏑馬の様子が、仕方話でリズムミカルに演じられます。太郎冠者は上手く酒を持ち出せるのでしょうか？

座席配置図

■料金

（全席指定・消費税含む）

S席（1階） 4,500円

A席（1階） 3,500円

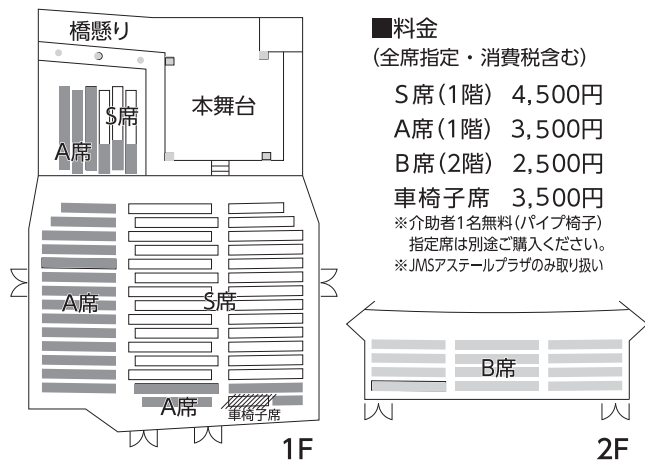
B席（2階） 2,500円

車椅子席 3,500円

※介助者1名無料（パイプ椅子）

※指定席は別途ご購入ください。

※JMSアステールプラザのお取り扱い



■チケット販売所

JMSアステールプラザ ☎082-244-8000

エディオン広島本店 ☎082-247-5111

電子チケットぴあ [Pコード 544-158]
ローソンチケット [Lコード 62475]

【交通のご案内】JR広島駅から

■市内電車 ●「広島港(紙屋町経由)」行き

／「市役所前」下車約600m

●「江波」行き

／「舟入町」下車約400m

■市内バス 広島バス「吉島営業所」行き

または「吉島病院」行き

／「加古町」下車南へすぐ

■タクシー 約15分

JMSアステールプラザ

